鳥類　大塚講師

	質問	年代	回答
1	鳥類の外来種は駆除できますか？その方法は何ですか？	40代	鳥獣による被害があり駆除する場合は、鳥獣保護法に基づき、鳥獣の捕獲等の許可が必要になります。（詳しくは農林課へお問い合わせください。） 外来種という理由で駆除することは難しいです。
2	カラスの被害があれば駆除してもいいのですか？		
3	秋に岐阜市東部藍川橋東側（芥見小学校横の田）に猛禽類の大群を見ることができます。 普段は橋の上空を飛ぶ姿を見ますが、もしかしてこれはサシバかなと思いますが、この多くの鳥たちが何か知りたいです。		秋はサシバやハチクマといった猛禽類が渡っていく時期です。金華山や百々ケ峰の上空を通過していきますが、そのコースである藍川橋付近でも観察できる可能性はあります。ただ、これら渡りの鳥はかなり高い場所を飛んでいくので、肉眼での観察は難しいかもしれません。この時期はアユが川を下り、産卵時期になるためトビが集団で集まっています。藍川橋付近はトビが多く集まる場所であるため、それを見られたのかもしれません。
4	今年の1月1日の早朝、鳥の大群の大移動を見ましたが何か関係はありますか？		カワウの大群を見られたのではないかと思います。川を移動して、餌の魚がいる場所へ移動するとき、連なって飛んで行きます。岐阜の街上空も飛んでいく時があります。 または、カラスのねぐら入りかもしれません。岐阜市内にねぐらがあり、夕方次々と飛んでいく姿を見ることがあります。
5	かつて岐阜市にはアオサギが沢山いましたが、とても減ったイメージがあります。東南アジアの環境の変化のせいでしょうか？		アオサギはむしろ増加しているサギです。アオサギは数十年前は珍しいサギでしたが、徐々に増え、今では普通に見かける鳥になりました。増加しているサギは、大型のアオサギ、ダイサギで、小型のコサギ、ゴイサギなどが減少しています。アオサギは東南アジアに渡っていかず、国内を移動するサギです。チュウサギは東南アジアに移動する鳥で、やはり減少が気になる鳥です。
6	百々ヶ峰周辺で最近鳥を見なくなりました。 考えられる原因はなんでしょうか？	70代	鳥の減少は百々ケ峰に限らず、各地で起こっています。減少する理由は環境によっても異なりますが、一つには餌の昆虫類の減少が考えられます。以前は５月６月に百々ケ峰を歩くと、毛虫が垂れ下がり、足元に落ちていましたが、最近は少なくなったように思います。巣を作る環境が減ったのではと考える人もありますが、そんなに減少している訳ではなく、むしろ餌が減少しているように思います。多くの雛を育て上げられなくなっているのでしょう。

7	河川工事が進み、湖畔林の伐採が行われていますが、野鳥への影響はありますか？	70代	河川敷の雑木林や草地は鳥の繁殖地、越冬地、移動の途中で立ち寄る場所などと様々に利用されています。当然影響はあります。一方、河畔林が発達しすぎると増水時に妨げになり、河川管理の上では伐採したいということも理解できます。昔は時々、増水が起こり河畔林があまり発達しなかったのですが、今は洪水対策で増水しない河川管理が行われ、河畔林が大きくなっています。よい環境ができたことで近年はオオタカなどが繁殖地として利用している場所もあります。そのような林は洪水対策としては問題となるでしょう。毎年、河川管理者から伐採計画が出されますが、オオタカや貴重種がいるような場所については伐採しないように要望は出しています。人間生活と自然環境の難しい問題です。
8	身近に居たツバメやスズメが田畑の減少により少なくなっていると思います。 これらの種は、レッドリストにならないのですか？ また、岐阜市全体の状況や現象の原因などが分かりましたら教えてください。		言われるようにツバメやスズメも減少しているという報告があります。 ツバメの減少原因として、①巣場所の減少　ツバメは人家に巣を造ります。昔は玄関を開けている家があり、土間の上に巣を造っていました。今は玄関を閉めてあるため、軒先の電灯の上などに巣を造ることが増えてきました。ところがそのような場所は糞が落ちるということで嫌われたり、カラスが卵やヒナを襲ったりしたりします。　②餌の減少　ツバメは飛びながら餌を取ります。つまり飛翔昆虫を餌にしています。その昆虫が少なくなり、雛をうまく育てられないと考えられます。 スズメの減少　ツバメ同様、人工物に巣を造る鳥ですが、巣場所にする隙間がなかったり、やはり餌の昆虫が不足しているのではないかと考えられます。スズメは昔から米を食べるとして嫌われていた時期がありましたが、繁殖期には多くの昆虫を食べます。その昆虫が少なくなっていると考えられます。 ツバメやスズメも大きく減少しているならレッドリストに入ることも考えられますが、それ以上に減少しており、絶滅の恐れのあるものを先ず選択しています。ツバメやスズメはまだそこまではいっていないと考えています。スズメがレッドリストに入るようになったら、かなりの環境悪化が起きていることでしょう。